

# 喜多流 自主公演

令和三年十一月

令和3年 11月28日(日)

12:00開演 (11:00開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和3年 9月1日(水) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。


・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。

・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただきます。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

三 雷  
輪 塩津 圭介  
電 佐藤 陽

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

#### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

#### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

#### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。  
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂 HP にてご確認ください。お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>



### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただけます。
- ・本年度は延期になった前年度の振替公演です。ご利用は前年度(令和2年度)喜多流自主公演年間優待券をご利用ください。尚、前年度の予約済の指定席も有効です。
- ・青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席 9,000円 C席(1階後席) 6,500円  
A席 8,000円 D席(2階席) 6,500円  
B席 7,000円 学生席(2階席) 2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

### 十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9  
TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999  
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

能

後シテ・三輪明神  
前シテ・里女 塩津圭介

### 三輪

ワキ・玄寶僧都 村瀬 提

アイ・三輪の里人 善竹大二郎

大鼓 柿原崇志 太鼓 小寺真佐人  
小鼓 田邊恭資 笛 槻宅 聡

後見 塩津哲生  
内田安信

友枝真也 内田成信  
佐々木多門 中村邦生  
金子敬一郎 出雲康雅  
大島輝久 狩野了一

狂言

### 茫々頭

シテ・太朗冠者 善竹十郎

アド主人 野島伸仁

休憩(二十分)

独吟

### 花筐

高林白牛口二

能

後シテ・雷神  
前シテ・菅丞相の霊 佐藤 陽

### 雷電

ワキ・法性坊 大日方 寛

ワキ連・從僧 御厨誠吾

ワキ連・從僧 野口琢弘

アイ・法性坊の能力 善竹大二郎

大鼓 柿原光博 太鼓 澤田晃良  
小鼓 住駒充彦 笛 藤田貴寛

後見 友枝昭世  
香川靖嗣

佐藤寛泰 高林呻二  
栗谷浩之 栗谷明生  
友枝雄人 大村 定  
栗谷充雄 長島 茂

附祝言

終了予定時刻 三時三十分頃

#### 三輪(みわ)

玄寶僧都という高僧が三輪の山蔭の庵に暮らしているところへ、樞と関柳の水を持つてくる女がいた。女は秋の夜寒をしのぐ為に衣を一枚所望する。玄寶僧都は女が求めるままに衣を与え、住まいを尋ねると、「杉立てる門を目印に」と言つて立ち去る。(中入)  
玄寶僧都は草庵を出て、三輪の神域近くまで来ると、先程の衣が神木の杉の枝に掛かっている。その衣の襟に金色の文字で一首の歌が書かれてあり読んでみると、美しい声が聞こえて、巫女姿の三輪明神が現れた。そして衆生済度の方便として語られた神話を語り神楽を舞う。そしてこの舞は、天の岩戸隠れの神話が起こりと語る。やがて夜も明け玄寶僧都の夢は覚めたのだった。  
(約九十分)

#### 茫々頭(ぼうぼうがしら)

太郎冠者が無断でどこかに出かけた事に激怒した主人は、太郎冠者に詰問をするが、太郎冠者が都へ出かけたこと知り、都の様子を聞きたくて許してやることにする。  
都見物の途中、道ばたの菊の花を手折つて頭に飾つたという。それを見た美しい上臈が歌を詠みかけたので、おうむ返しに返歌をするというそう感心し、大勢のお客がいる酒宴の場に連れて行かれ靴脱ぎの辺りで待つていた。  
しかし何の接待もしてくれないことに太郎冠者は腹を立て、誰かの草履を持ち帰ろうとして下女に見つかり怒られたことを主人に話した。  
聞き終わった主人はのんきな話に呆れて太郎冠者を叱るのだった。  
(約二十五分)

#### 雷電(らいでん)

比叡山延暦寺の座主法性坊の僧正が仁王会を執り行う夜すがら、地方官庁の太宰府に左遷されて憤死した菅公の亡霊が訪れる。僧正は幼く、身寄りとなない菅公を養つた親であり、師であった。  
久しく会わないことを文章に述べ表したのち、菅公の霊は、自分は雷となつて、生前、自分を冷淡な待遇をした宮廷人たちを蹴り殺さんと思つたが、異変にあつて僧正が内裏に召されたら、それには応じてくれるな、と懇願する。僧正は二度までは謝絶するが、勅使が三度に及ぶときは力なし、と答えるや菅公の霊は形相すさまじくやわに本尊の供物の柘榴(ざくろ)を噛み砕いて妻戸に吐きかけ、たちまちそれが火炎となつて燃え上がると僧正は鑊字(ばんじ)の経文を唱え、『灑水(しゃすい)』の印を結び、菅公の霊は、火炎が消える煙の中に姿を消した。(中入)  
案の定、僧正は内裏へ召され、法華普門品を誦誦するおりから、暗雲とざし雷鳴とどろき、雷と化した菅公が現れる。紫宸殿、清凉殿、弘徽殿と、祈る僧正と鳴り渡る菅公は、追いつ追われつもみあううち、ついに法力に屈したが帝は「天満大自在天神」の称号を贈り、菅公はこれまでなりと虚空に消え失せるのだった。  
(約六十五分)

#### 令和三年十二月自主公演番組予告

令和三年十二月十九日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 十月一日(金) 午前十時

井筒 高林 呻二  
一角仙人 狩野 了一